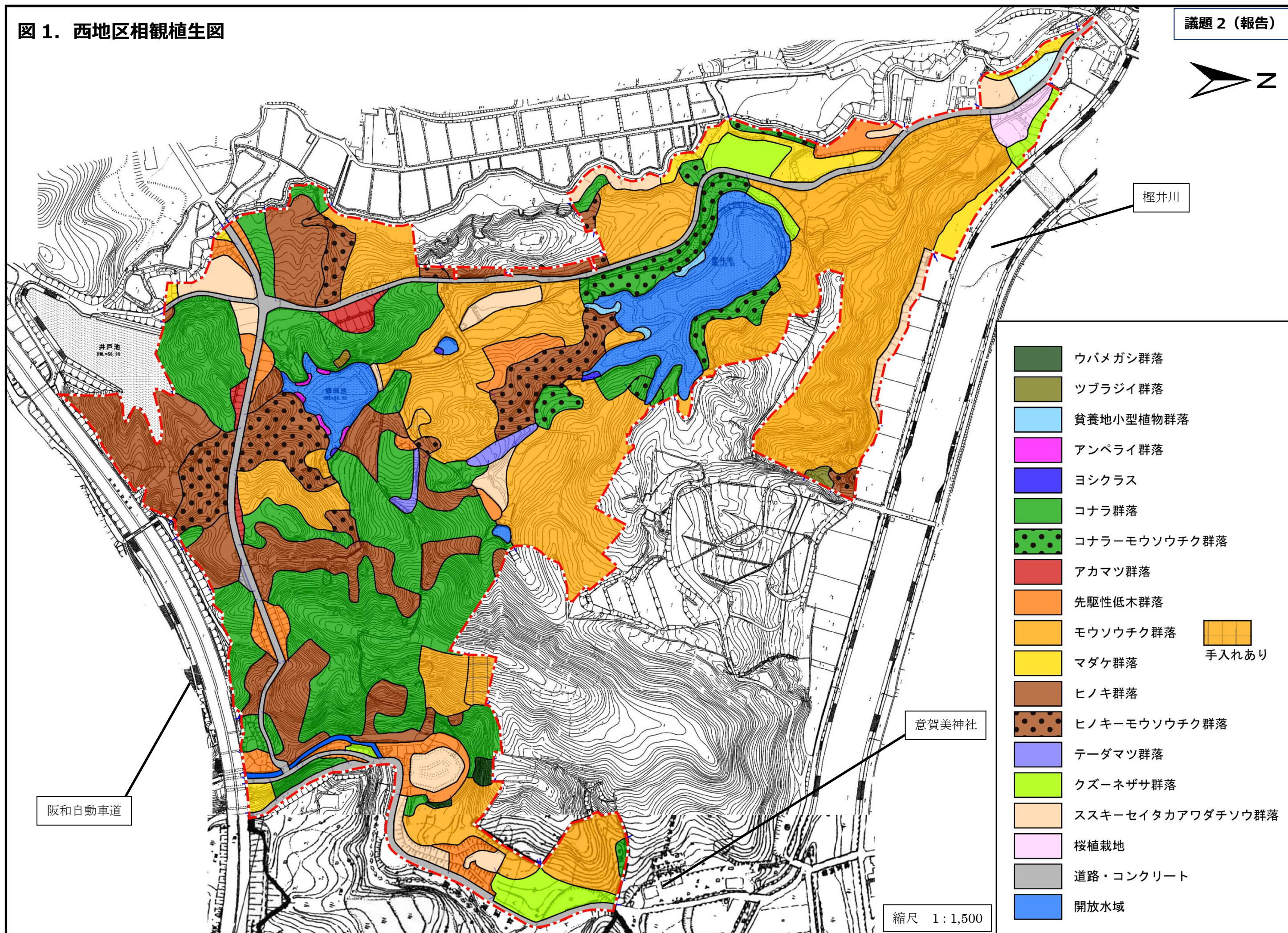


図 1. 西地区相観植生図



井戸池  
100-066.90

桜井川

意賀美神社

阪和自動車道

縮尺 1:1,500

- ウバメガシ群落
  - ツブラジイ群落
  - 貧養地小型植物群落
  - アンペライ群落
  - ヨシクラス
  - コナラ群落
  - コナラモウソウチク群落
  - アカマツ群落
  - 先駆性低木群落
  - モウソウチク群落
  - マダケ群落
  - ヒノキ群落
  - ヒノキモウソウチク群落
  - テーダマツ群落
  - クズーネザサ群落
  - ススキーセイタカアワダチソウ群落
  - 桜植栽地
  - 道路・コンクリート
  - 開放水域
- 手入れあり



## 1-1. 植生区分および群落概要

### (1) ウバメガシ群落

- ①相観：ウバメガシの優占する低木林
- ②分布：西地区東部の急傾斜地に分布
- ③概要：露岩上および露岩下の急傾斜地に成立。急傾斜地に成立する自然性の高い植生。



### (2) ツブラジイ群落

- ①相観：ツブラジイの優占する高木林
- ②分布：西地区北部の山麓尾根部に分布
- ③概要：胸高直径 70cm を超えるものや株立ちのツブラジイが林立する巨木林。モウソウチクが侵入している。



### (3) 貧養地小型植物群落

- ①相観：ニッポンイヌノヒゲ等の優占する湿地
- ②分布：樫井池の水際に分布
- ③概要：ニッポンイヌノヒゲ、コアゼガヤツリ、ミズユキノシタ、オギノツメ等が生育。水域ではホソハマズヒキモ（水生植物）や林縁ではハンノキもわずかに生育。



### (4) アンペライ群落

- ①相観：アンペライの優占する湿性植物群落
- ②分布：郷田池の池畔に分布
- ③概要：アンペライ（大阪府レッドリストの絶滅危惧Ⅰ類）が群生。



### (5) ヨシクラス

- ①相観：スゲ属が優占する湿性草地
- ②分布：樫井池等の水際に分布
- ③概要：カサスゲと思われるスゲ属が群生する湿性草地。



### (6) コナラ群落

- ①相観：コナラが優占する高木林
- ②分布：西地区の西部を中心に分布
- ③概要：コナラやヤマザクラが優占し、谷や斜面下部ではクスノキ、尾根部ではヤマモモが混生する。



### (7) コナラーモウソウチク群落

- ①相観：コナラが優占する高木林
- ②分布：樫井池等の周辺に分布
- ③概要：コナラやヤマザクラ、クスノキが優占するが、林内にモウソウチクが多く侵入。



### (8) アカマツ群落

- ①相観：アカマツが優占する低木～高木林
- ②分布：道沿いの切土斜面沿いに分布
- ③概要：切土部に植栽もしくは先駆的に生育するアカマツ林。アカメガシワやヌルデが混生する。



(9) 先駆性低木植物群落

- ①相観：アカメガシワやヌルデが優占する低木林
- ②分布：道路沿いや造成跡地周辺に分布
- ③概要：先駆性のアカメガシワやヌルデが優占しセイタカアワダチソウ、クズなどが生育。



(10) モウソウチク群落

- ①相観：モウソウチクが優占する竹林
- ②分布：西地区の中央から東部に広く分布
- ③概要：樫井池 から北部の竹林は枯れた竹が林内に倒れこんでおり非常に荒れている。一方、西部は試験伐採が行われるなど人の手が入っており、林内は整理されている。

写真上段：北部の荒れた竹林

写真下段：東部の整理された竹林



(13) ヒノキモウソウチク群落

- ①相観：ヒノキが優占する植林
- ②分布：西地区の中央部から西部に分布
- ③概要：ヒノキの植林地にモウソウチクが侵入しており、調査範囲に分布するヒノキ植林の約半分を占める。



(14) テーダマツ植林

- ①相観：テーダマツが優占する植林
- ②分布：西地区の中央部に分布
- ③概要：北米東部原産のテーダマツ植林 胸高直径 50cm を超えるものも生育。



(15) クズネザサ群落

- ①相観：クズやネザサが優占する林縁植生
- ②分布：道路沿いや等の明るい林縁部に分布
- ③概要：クズやネザサが繁茂



(16) ススキセイタカアワダチソウ群落

- ①相観：ススキやセイタカアワダチソウが優占する二次草地
- ②分布：林縁部や造成跡地に分布
- ③概要：ススキやセイタカアワダチソウが繁茂



(11) マダケ群落

- ①相観：マダケが優占する竹林
- ②分布：樫井池 の東部山麓に分布
- ③概要：元々山麓に植栽されたものが管理されなくなり広がっている。



(12) ヒノキ植林

- ①相観：ヒノキが優占する植林
- ②分布：西地区の中央部から西部に分布
- ③概要：谷部ではスギが混生する箇所もあるがほとんどがヒノキの植林地。枝打ちや下刈りをされている管理地が多い。



(17) 桜植栽地

- ①相観：桜の植栽地
- ②分布：西地区北東部の土地神周辺
- ③概要：土地神を祀る周辺の桜植栽地



1-2.希少植物、人為的活動跡地等の把握

(1) 確認されたレッドデータ該当種について

■確認されたレッドデータ該当種の他地域（関西圏）での指定状況

科名	種名	大阪府	兵庫県	京都府	滋賀県	奈良県	和歌山県
西地区							
カヤツリグサ	アンペライ	絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧Ⅱ類				
イネ	ウキシバ	準絶滅危惧		絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧
東地区							
スイレン	ヒツジグサ	準絶滅危惧		絶滅危惧Ⅰ類	準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅰ類	準絶滅危惧
ラン	コクラン			その他		準絶滅危惧	

注) レッドデータの指定状況は、「日本のレッドデータ検索システム」(<http://jpnrd.com/index.html>) による。

- 希少植物としてアンペライ、ウキシバの水辺に生育する種を確認。  
(当地は「大阪府レッドリスト2014」の生物多様性ホットスポット(Bランク: 泉州ため池群)に含まれる)
- 特徴的な植物として、ツブラジイ、クスノキの巨木や、コナラ、ヤマモモの巨木林、自然性の高いウバメガシ林を確認。
- 人為的活動跡として、土地神、古い棚田跡、小屋跡を確認。  
古い棚田跡はモウソウチクが侵入しており、完全に竹林と化している。  
西地区の北部の林縁では養蜂箱が置かれており、ミツバチの出入りがあることから現在も利用されていると考えられる。
- イノシシの捕獲罠(放置罠?)が北部と南部にあり、調査中にイノシシを目視したほか、ぬた場を確認。

【希少植物】

- (1) アンペライ(カヤツリグサ科)  
希少性: 大阪府レッドリスト(絶滅危惧Ⅰ類)  
生育状況: 郷田池の池畔に小群生



- (2) ウキシバ(イネ科)  
希少性: 大阪府レッドリスト: 準絶滅危惧  
生育状況: 櫻井池の池畔に15個体生育



【人為影響下の植生】

- (1) 管理竹林  
西地区の東部、事業範囲外にある果樹(カキノキ)に隣接する竹林。  
間伐し整理されている。



- (2) 試験伐採林  
西地区の西側中央部、モウソウチクが除伐され森林総合研究所関西支所が事後調査をしていた形跡(樹木ナンバリング)がみられる。  
アカメガシワ、ヌルデのほか、クロバイ、アオモジが多くみられる。



【特徴的な植物】

- (1) ツブラジイ巨木群  
11本株立ち  
樹高: 20m  
胸高直径: 38cm、35cm、27cm、12.5cm、17.5cm、35cm、30cm、41.5cm、33cm、29cm、28cm  
(写真中の赤白ポールは長さ2m)



- 3本株立ち  
樹高: 20m  
胸高直径: 70cm、70cm、23cm、



- (2) クスノキ巨木  
 樹高：28m  
 胸高直径：100cm



- (3) コナラヤマモモ巨木群  
 2本株立ち  
 樹高：28m  
 胸高直径：52cm、48cm



- (4) ツブラジイ巨木  
 6本株立ち  
 樹高：18m  
 胸高直径：51cm、50cm、48cm、44.5cm、  
 27cm、24.5cm



- (5) ウバメガシ林



【人為的活動跡の把握】

- (1) 牛神碑  
 西地区の最北部。土地神が祀られ  
 周囲に桜が植栽されている。



- (2) 養蜂  
 西地区の北部、林縁にニホンミツバチの養蜂箱が  
 数個置かれている。



- (3) イノシシ捕獲罠  
 西地区の北部と南部の2箇所で確認。  
 鳥獣捕獲許可年月日、目的、許可の有効期限を  
 記載した標識は確認していない。



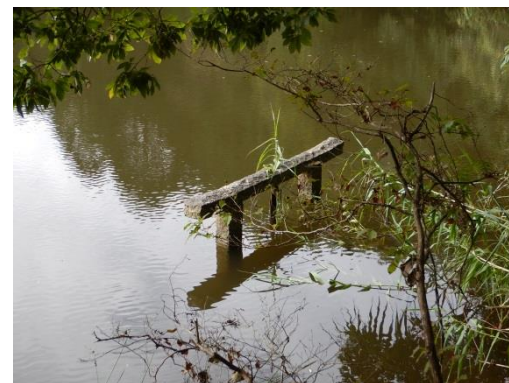
(4) 古い棚田跡

ため池堰堤や地形の形状から古い棚田跡と考えられる。  
現状はモウソウチク林。



(5) 樋門 (郷田池)

郷田池の堰堤付近で確認。  
鳥居のように見える。長期間使われていない様子。



(6) 小屋跡

西地区の北東の谷部。現在は使用されていない  
小屋、ブロック、トタン波板がみられる。



【その他】

(1) イノシシのぬた場



(2) 多様なキノコ類の生育

事業地内に広がるモウソウチク林は、シダ植物以上の高等植物の種類数は少なく、多様性は低いと考えられる。  
一方、種名の特定は出来ていないが、キノコ類は多様な種類がみられる。



テングタケ  
*A. pantherina* (DC.:Fr) Krombh



スッポンタケ  
*Phallus impudicus* L.